



郷土史

ていね

第 96 号

平成 27 年 12 月 9 日

手稲郷土史研究会会報

第 115 回(平成 27 年 11 月 11 日)定例会の研究発表要旨

北に燃えた サムライ 村橋久成をNHK大河ドラマに

「残響」作家・田中和夫氏から経過を聴いて

一ノ宮 博昭 氏

★木原直彦氏を会長に、知事、札幌市長を特別顧問に

小説「残響」作家・田中和夫氏(稲穂在住)に手稲駅で会ったのは、5月27日、郷土史研究会有志で北海道博物館を見学した日だった。「さいきん、何と取り組んでいますか」と聞くと、差し出された書類に「北で燃えたサムライ 村橋久成をNHK大河ドラマで放映していただくためのパンフレット」とあった。さすが、作家の目は鋭いと直感した。



タイミング良く7月8日の例会で井塚重男会員の「残響」解説を聞いた。これを受け8月12日の第112回例会で田中氏の取り組みを報告、参加会員にはかり支援を決定した。8月20日には田中氏ら有志の会代表が札幌市役所を訪問、秋元克広市長から特別顧問就任の快諾を得た。その後、世話役で協議の結果、誘致する会会長に著名な文芸評論家・木原直彦氏、北海道久成会会長・林下英二氏(中西印刷社長)を選び、年内にも設立総会を開く手順になっている。また、高橋はるみ知事の特別顧問就任の内諾も得た。

★募金運動も始動

この間、田中氏の新聞、文芸誌などへの寄稿もあって、運動の輪は次第に広がり、当初は北海道薩摩の会、かごしま久成会、エドウィン・ダン記念館、西サッポロビール会など11団体だったものが、今日では手稲郷土史研究会、琴似屯田子孫会など30団体に広がった。この種運動にはとかく経費をとまうものだけに、さっそく募金運動を開始した。茂内義雄会長宛に協賛要請文書も届いている。一口3000円以上となっている。

そこで、田中氏から運動の経過を聞こうと11月11日の第115回例会に講師として再登場願った。演題は「未開地の開拓と近代化 そして村橋久成」。田中氏の講演は「軽石軌道」以来だ。

★本道開拓の始祖、なのに突然の辞任

久成は、天保13年(1842年)薩摩藩加治木島津家分家の村橋久柄の嫡子として誕生した。将来、家老職につく名門で、御小姓番頭として城中に詰めていた。配下には黒田了介(清隆)調所藤内左衛門(広丈)らがいた。幼少のころから英才として知られ、慶応元年、藩は国禁を破って英国に15人の留学生を送り込んだが、この1人に選ばれている。帰国後、箱館戦争にも参加、軍監として榎本武揚に降伏を勧めた。

新政府のもとで開拓使十等出仕となる。以降、久成の活躍は十指にあまるほどで、七重農業試験場、琴似屯田兵村、麦酒醸造所、葡萄酒醸造所、製糸所、仮博物館、牧羊場の創設など北海道開拓の始祖の



名声が高い。この知名度から知事公館内に胸像も建立されている。

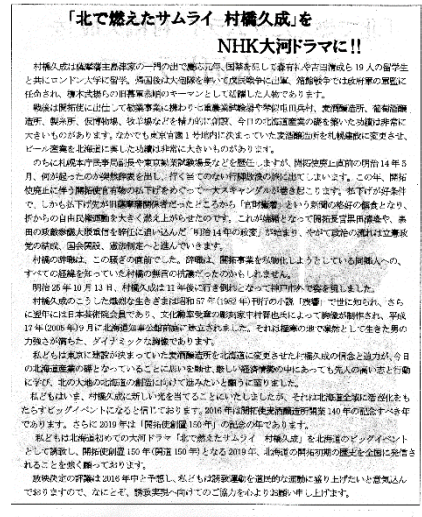
が、明治 14 年、久成は突然辞表を出し、全国放浪の旅に出る。そして、明治 25 年 10 月 12 日、神戸又新日報に以下のような記事が出た。

「右の者本年 9 月 25 日当市葺合村において疾病のため倒れおり、当庁救護中、同月 28 日死亡につき仮埋葬す。心あたりのものは申し出へし」。

久成は最後を看取るものもないまま息を引き取った。50 歳だった。

講演のあと、質問が相次いだ。久成の突然の辞任の真相は何だったのかとの疑念が払しょくされないからだ。久成の新規事業の稟議があまりに多すぎたからではないか。後輩たちが久成の立場を追い越したからではないか、などなどだ。

田中氏は、そのいずれも否定できないとしながらも、「残響」の東京農業試験場の末尾で、自由民権運動が大きな勢力を得て、開拓使官有物の払い下げをめぐって、黒田や大隈重信らが辞任に追い込まれるいわゆる「14 年政変」の年だったとし、高邁な理想を掲げて新発足した政府だったのに、官民癒着が新聞で報じられるなど、理想と現実のはざままで久成は苦悶していたのではないかと、筆先にその疑問をにじませている。



★3年後、2018年放映に照準

誘致する会によると、久成の放映を 3 年後の 2018 年としている。この年は札幌本府建設着手 150 周年にあたる。ここに照準を合わせ、まず手はじめに 12 月 5 日から 10 日まで紀伊國屋書店札幌本店 2 階ギャラリーでパネル展を開催するほか講演会なども開催し、道内のマスコミ各社に取材を要請し全道規模の世論盛り上げと取り組みたいとしている。

「北で燃えたサムライ 村橋久成」を NHK大河ドラマで 放映していただくためのパンフレット



NHK大河ドラマ「北で燃えたサムライ 村橋久成」を誘致する会
 実行委員会 北で燃えたサムライ 村橋久成を誘致する会
 実行委員会 北で燃えたサムライ 村橋久成を誘致する会
 実行委員会 北で燃えたサムライ 村橋久成を誘致する会

誘致する会では、来年 4 月ころまでに正式な要望書を提出することとしているが、全国規模の放映なので、かなりの激戦は避けられず、すでに 20 数団体が誘致活動を始めたり、名乗りを揚げようとしているという。

【お詫び】

第 115 回例会では、馬淵雍明会員に『Mathematica』の紹介の研究発表がありました。編集作業日までに原稿が未到着でしたので、申し訳ありませんが掲載できませんでした。



12月の分科会カレンダー

分科会名	日 程	予 定	会 場
文芸サークル・ 開拓史研究部	23 日 (13 時 30 分)	「有島武郎年譜について」 (梶本孝氏)	乙黒宅
手稲石の会			
資料部	24 日 (13 時)	案内板紹介パネル展 (仮称) 企画	茂内宅